

札幌市議会議員

池田ゆみ

2024年9・10月号

市政事務所だより

【発行】日本共産党 池田ゆみ市政事務所 〒062-0904 豊平区豊平4条10丁目2-13高木ビル1階
【HP】 <http://www.yumi-ikeda.com/> 【電話】818-8367 【FAX】818-8368



街頭で敬老パスの存続を訴える池田市議

無駄な補正予算に反対 敬老パスの存続など求める

第2回定例会市議会（5月17日から6月4日）では、日本共産党市議団は、今年12月からの健康保険証の発行停止に関連する補正予算に反対するとともに、敬老パス、自衛隊への若者の名簿提供などについて追及しました。

健康保険証存続すれば不要な予算

国保会計補正予算、後期高齢者医療会計補正予算は、今年12月から健康保険証の発行が停止されるのにもない、マイナ保険証を取得しているいないに関わらず、1億1200万円をかけて、マイナンバーの下4桁の情報を特定記録郵便で被保険者に送付するためのものです。マイナ保険証の取得を促す目的です。

マイナ保険証の利用は、国保、後期高齢者でそれぞれ9%、5%と低い状態です。現行の保険証を継続してもなんら問題はありませぬ。昨年10月には市議会として、現行保険証の存続を求める意見書をあげています。

敬老パスを存続させ、健康寿命の延伸も

「敬老パス」に代わるものとして市が提案している「敬老健康パス」は健康寿命の延伸を目的としています。党市議団は「健康寿命の延伸に市民は反対しているわけではない。元気な長生きしたいという思いは、市と共通の認識であり、現行の敬老パスは存続してほしいというのが

市民の願い」と指摘。「現行敬老パス制度を存続させた上で、健康寿命延伸の取り組みを別の施策として考えるべき」と求めました。

また、敬老パスがバスや地下鉄の利用を促し、高齢者が街に出かける機会を増やすことで、市内の経済に与える効果や、高齢者の社会参加を促すといった社会効果について

発行停止になって も心配ありません

現行の健康保険証は12月で新規の発行が停止になり、但し、手元にある健康保険証は有効期限まで、そのまま使えます。

その後も保険証の代わりに「資格確認書」が送られてきます。これで、今までと変わりなく受診できます。

マイナ保険証を取りたくないと断って、不利益を受けることはありません。

とともに、現行健康保険証を継続利用できるようにすれば不要の予食費は、どこに住んでも無償となるように、国の責任で無償

給食費の無償化など117項目

日本共産党北海道委員会では7月22日、都内で12省庁に対し、117項目に渡る政府要請を行いました。

要請には岩淵友、紙智子両参院議員とともに、共産党道議団、池田ゆみ札幌市議らが参加しました。

池田市議は、国交省に対し、政令市へのバス路線補助の拡充を求めるとともに、文科省に対し、食育とされている学校給食費は、どこに住んでも無償となるように、国の責任で無償

自衛隊への 名簿提供の中止を

札幌市は今年も9月に18歳と22歳の若者の名簿を自衛隊に提供するとしています。本人の承諾を得ることなく名簿を提供することはプライバシー権の侵害につながります。

名簿の提供を望まない者は「除外申請」ができると思いますが、だれが「除外申請」



文科省への要請を行う池田市議



北海道運輸局に要請する池田市議(右端)

新幹線札幌延伸計画の抜本的再検討求める

を行ったかは特定可能であり、「除外申請」をしたくてもためらう市民もいます。市議団は「『除外申請』の制度を知らない、申請をしたくてもためらう市民の存在を考えるなら、名簿提供は直ちにやめるべき」と求めました。

北海道新幹線の札幌延伸が延期された問題で、池田ゆみ市議は、日本共産党の丸山はるみ道議らとともに6月28日、北海道運輸局(札幌市)を訪れ、要請を

岸田政権のもとで軍備の強化が図られ、自衛隊員が戦争に巻き込まれる危険性が高まっています。平和憲法のもと、若者を戦争に駆り出すことにつながりかねない名簿提供は中止すべきです。

行いました。

要請では、①当初計画から5年前倒しして2030年度末開業とされた経緯の公表、②事業費や有害残土処理を含め延伸計画の抜本的な再検討、③函館本線の維持存続、を求めました。

池田市議は、札幌延伸工事で死亡事故が6件にもものぼっていることを指摘し、市議会でもこれまで以上に環境配慮や安全最優先の工事となるよう求めてきたと語り、安全対策の一層の強化を求めました。

また、有害重金属を含む掘削土は市民の不安や反対をよそに、手稲区山口への搬送が進められているが、さらなる搬送地が決まらな

いまま、特定の地域に押しつけることは許されないと強調しました。

平和行進・平和盆踊りで核兵器禁止、平和を訴え

5月18日、札幌入りした礼文島からの国民平和大行進(幹線コース)にあわせ、豊平区平和行進が行われ、美園生協前から地下鉄白石駅裏の「やまびこ公園」まで、池田市議は、区民のみなさんと、核兵器禁止と平和を訴え行進しました。



子どもたちと盆踊りをおどる池田市議(中央)

た豊平区平和盆踊りに参加。池田市議は、平和を願い子どもたちと盆踊りを踊りました。

日本では、非正規雇用が多いことや、働く人の賃金が上がらないことから、国民所得が向上していません。さらに、社会保障の歳出改革で高齢者

こんにちは!
池田ゆみです



七夕飾りには、「戦争がなくなりましますように」とか「看護学校に受かりますように」「優しい彼氏ができますように」など沢山の子どもたちの願いが書かれていました。閉会に当たり池田市議は、市政報告とともに、「子どもたちの願いをかなえるためにも平和が一番大切。月寒から平和の願いをあげていきましょう」とのべました。

お困りごとは池田ゆみ市政事務所へ

物価高騰で家賃が払えない、学費が払えない、税金、保険料の減免ができないか、介護を受けたいなどが、お困りごとは池田ゆみ市政事務所 818-8367へお電話ください。
池田ゆみ市政事務所(36号線きたえーるに入る角)は平日の10時~16時の間開いています。
無料の法律相談会も毎月第3木曜日午後2時から行っています。弁護士が対応しますので、こちらは予約が必要です。818-8367へお電話を。

の医療や介護保険などの負担を増やし、年金の引下げも行われてきました。
労働法制の改悪で非正規雇用を自由に広げ、さらに優遇税制で大企業の儲けを守る。「大企業が儲ければ、いずれ賃上げとなり、利益が滴り落ちてくる」というトリクルダウンの政治を長年続けてきた自民党政権。しかし、企業からの献金等で裏金作りを広げただけで、どんなに待っても国民には、何も滴り落ちてきませんでした。
大企業の利益優先の政治から、くらし優先の政治へ。これが市民の願いです。自民党政治を終わりにさせましょう。